

第 2 回

支え合い会議(第 2 層協議体)連絡会

開催報告

日時：平成 30 年 11 月 28 日(水)

18 時～20 時 30 分

会場：グリーンホール 2 階ホール



目次

第1章	p.1
「第1部 支え合い会議活動報告（13地域）」報告	
発表テーマ	
①共通テーマ うちの協議体のココがスゴイ	
②選択テーマ 今まで取り組んできたこと、 今取り組んでいること、 これから取り組みたいこと	
第2章	p.6
「第1部 支え合い会議活動報告（今年度立ち上げ5地域）」報告 ・13地域の報告を聞いた感想をいただきました。	
第3章	p.8
「アドバイザー、見学者よりコメント」報告	
第4章	p.9
「第2部 グループトーク報告」	
第5章	p.10
アンケート集計結果報告	
参考資料	p.13
当日配布資料	

第1章「第1部 支え合い会議活動報告（13地域）」報告

・発表テーマ

①共通テーマ 「うちの協議体のココがスゴイ！」

②選択テーマ 今まで取り組んできたこと、
今取り組んでいること、
これから取り組みたいこと

・1地域4分程度で発表していただきました。

※発表順に記載しております。

支え合い会議板橋 平成29年11月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・商店街や区役所、大学、大きなマンション等、様々な施設がある。
- ・SCも叱咤激励されながら、わいわいがやがやと自由な発言がしやすい雰囲気の中で、地域の“宝探し”をしている。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・支え合い会議でできること探しのための情報交換
- ・地域の方にもわかりやすい活動紹介の広報紙を作成中。
- ・今後は老人クラブ一覧の作成や、休憩・交流できる場所の情報を集めたマップ作り、協議体の活動や地域活動を紹介するDVDの作成等に取り組むたい。



支え合い会議仲宿 平成29年12月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・民生委員が全町会から参加しているだけでなく、介護事業者やサロンが参加しているので、地域の高齢者のニーズや現状が把握しやすい。
- ・好きなことを言える雰囲気ができており、団結力が強い。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・資源マップ(仮称)やお散歩マップ(寺社巡り等)の作成(3月発行予定)
- ・居場所づくりでは、空き家や町会の施設に交渉中
- ・居場所ができた際に行うプログラムも検討中
- ・アプリを活用した商店街と福祉活動の連携を検討中
- ・ホームページの立上げ
- ・将来的には支え合いの仕組みづくりをしていきたい。



支え合い会議常盤台 平成 29 年 4 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

「みんなが自由に意見を言い合える雰囲気」構成員、協力員が分け隔てなく何でも意見を言い合い、最後はうまく意見がまとまる。お互いを尊重しあえる雰囲気が自慢。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・会議の際に、参加団体ごとに1ヶ月の活動報告や行事予定を報告する。その取り組みが参考になるとともに、地域の課題に気付くきっかけとなっている。
- ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、老人クラブの活動を地域に伝える目的で、「わたしのまちの元気活動～老人クラブ編～」を発行した。
- ・「支えあい会議常盤台」の紹介リーフレットを作成し、地域の行事で配布した。今後も、いま地域にある、さまざまな情報を発信していきたい。



支え合い会議清水 平成 29 年 11 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・広報誌「みんなの支え合い通信」創刊号を2018年6月に発行した。協議を重ね、様々な工夫を凝らし、清水地域ならではのものを作成した。清水地域のイベント「あじさいまつり」等で配布した他、町会回覧でも配布した。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・メンバーは個性豊かだが、清水地域が好きだという「清水愛」は共通している。「長年地域に暮らし、歴史を知っている人」「仕事で地域に関わり始めたことで、他地域との違いを新鮮に感じられる人」「地域の活動を今でも続けているからこそ、地域の声・事情を知っている人」少人数だが、チームワークがとれている。広報紙も、それぞれ得意なところを活かして参加している。



支え合い会議志村 平成 30 年 2 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・構成メンバーが全町会から選出されている他、民生委員、サロン、介護事業所、薬局、包括等のメンバーが揃っている。多様な視点があることが1番の強みである。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・主に地域情報共有をしながら、その中で「社会資源の情報発信の充実・活性化」と「支え合い会議の周知」に取り組んでいる。
- ・現在は、「笑顔で寄りそう支え合い通信」と、老人クラブ活動紹介の発行に向けて、調査・討議を重ねている。
- ・今後は、できること探しを続けながら、活動を具体化していくためのグループワーク等にも取り組んでいく。
- ・若い世代への情報発信としてSNSも活用していく。



支え合い会議中台

平成 30 年 5 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

会議の出席率がいいこと、アイデアがたくさん出るところ、短期間での地域情報の収集力や行動力があり、動き出すとスピード感があるところ。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・今は、マップ作成のための情報収集及び資料作りをしている。マップの構成とターゲットにする年代、冊子にするかチラシにするか、どのように配布するか、そしてそれをいかに活用するかを考えることが今後の重要課題である。
- ・マップの活用方法の将来的な夢としては、地域の高齢者、聴覚障害者、視覚障害者などに使いやすい、スマホで利用できるアプリの開発まで進めていきたい。



蓮根 AIP ささえあい協議会

平成 30 年 3 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・全ての町会・自治会長が構成メンバーになっている。民生委員、老人クラブ、介護事業所等、幅広い地域の代表がメンバーとなっている。「蓮根ささえあいの集い」を開催し、地域に「蓮根 AIP ささえあい協議会」をアピールする機会を設けた。わずかな準備期間の中、SC、構成員を中心に結束して大きなイベントを成功に導けたのは、日頃から培った町会・自治会の強い組織力と住民の団結力があるからだ考える。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・様々な地域行事や活動と協働・協力して、高齢者を支える企画を立案していく予定である。また独自に新たな仕組みづくりも考案して、AIP の活動の可能性を追求していく。



支え合い会議舟渡

平成 30 年 5 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・意見交換が活発で、チームワークが良い

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・舟渡らしさを生かし、従来の会議と異なるような、町会の枠を超えた新しい取り組みをしていきたい
- ・地元の施設を軸とした、高齢者と子供が交流できる場作りや、その宣伝方法の検討、ニーズ調査のためのアンケートの実施
- ・今後、住民同士のちょっとした話や困った話、生活の中で気になる話等を共有し、活動につなげたい。
- ・老人クラブやサロン等を地域の方に知ってもらう機会づくり



支え合い会議前野

平成 29 年 11 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・「みんな仲良し」和気あいあいと話し合っている。忌憚のない意見を全員で出し合い、ゆっくりじっくり話し合いを続けながら、焦らず慌てず結論を出すことができる。みんなの思いが反映されるようにお互いの意見を尊重し合うところ。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・広報誌第 1 弾「住みよい町まへの」支え合い会議発足のお知らせを発行した。
- ・情報交換、地域資源の収集に取り組んでいる。
- ・今後は、収集した地域情報を見える化として、「住みよい町まへの」第 2 弾の発行を目指す。地域の様々な活動紹介、地域情報を発信していきたい。



支え合い会議桜川

平成 29 年 4 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・『目指せ一人一発言』定例会での一人一人の発言の機会を作り、みんなの意見を大切にしている。
- ・勉強会での資質の向上、グループワークでは会議運営の改善を図るなど、一人一人の能力を生かし、また全員で活動に取り組んでいるところ。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・地域情報の発信、サロン活動の活性化、引きこもり予防のためのお散歩マップ作りとテーマに分かれ、グループで話し合い、活動している。
- ・「おたがいさまと言える」、「あいさつや声掛けでつながる」など、普段から助け合い、安心して住み続けられる街になるような地域づくりをしていきたい。



支え合い会議成増

平成 29 年 4 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・スローガン「人とのつながりみんな笑顔」の実現に向けて取り組んでいる。
- ・構成メンバーに女性が多く、女性パワーで頑張っている

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・地域の方に情報を届ける「元気に成マップ(第 1 弾)」を作成中(12 月完成予定)
A2 の大きさで、カフェや体操ができる場所の情報を集めた。
- ・お手伝い編・困りごと編の 2 種類のアンケートを作成し、計 568 名の方に対面で調査を実施した。
- ・第 2 弾のマップ(お買い物編など)の作成やマップのデータ化を検討中
- ・今後アンケート調査結果の活用方法を検討していく。



支え合い会議徳丸

平成 29 年 6 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

・町会と連携・協力し、町会回覧や掲示板を活用して、町会未加入の高齢者にも地域行事に参加してもらえるような周知活動や、取り組みを行っている。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・歩こう会や地域の伝統行事（獅子舞祭）の鑑賞会を実施
- ・老人会の新年会に高齢者を招待し、お琴や尺八の演奏会を通して、地域活動を体験してもらう。
- ・地域の伝統行事（田遊び）をきっかけに、高齢者の地域参加を促す。
- ・徳丸地域の地域活動や資源をまとめた「地域支え合いカード」の作成



支え合い会議高島平

平成 28 年 10 月立上げ

①「うちの協議体のココがスゴイ！」

- ・会議日程をその都度決めることで、出席率を上げている。
- ・協力員が多く出席している。協力員にも意見を求め、開かれた協議体になっている。協力員は登録制にして、費用弁償を支払っている。

②主な取り組み（今まで・今・これから）

- ・高島平シニアガイドを 3 万部発行し、全戸配布する際に多くの住民に協力してもらい、地域の連帯感が生まれた。
- ・今後、アンケート調査を行う予定だが、そこでも協力者が増えてきた。アンケートの結果を活動につなげたい。
- ・高齢化や店の閉店のため、買い物が困難になっている。
- ・助け合いの組織を立上げるため、既存の助け合いの会を講師に招き、勉強会を予定している。



いたばし社 編集キャラクター



第2章 「第1部 支え合い会議活動報告（5地域）」報告

・平成30年度に立上げをスタートした5地域の皆様より、13地域の報告を聞いた感想を一言いただきました。

※発表順に記載しております。

支え合い会議下赤塚 平成30年8月立上げ

- ・各地域の皆さんがとても熱く、まとまりがいいのを実感した。話し合いを重ねて進めてきているのだと思った。
- ・皆さんの活動を参考にしながらいいとこどりをしていきたい。
- ・まずは地域の現状把握をしていきたい。
- ・下赤塚地域では広報紙の作成を進めている。各地域の広報紙を参考にさせてもらいながら、広報紙を作成して、この活動を地域に根付かせていきたい。
- ・構成メンバーの各団体の皆さんと意見交換、協力しながらよりよい支え合い会議下赤塚を作っていきたい



支え合い会議大谷口 平成30年8月立上げ

- ・参加者が高齢者ばかりと思っていたら、若い人が集まっていて驚いた。そして明るくて元気。温かくて繊細。適材適所、ゆっくりじっくり作り上げていくのがさすが。板橋区の将来はバラ色。ここにいる人たちは、心も生活もある程度余裕のある人、それ以外の人たちへの働きかけが課題であると感じた。



支え合い会議富士見 平成30年8月立上げ

- ・スタートした時には、地域にこんなに資源があるのだと驚き、情報交換のできるいい会議だと思った。その後、会議を重ねていくうちに、さて何をやろうと行き詰っているところがある。
- ・皆さんの話を聞くと、老人クラブ、サロン等、高齢者を集める手立てを考えている。皆さんに地域資源を紹介していくのが支え合い会議。高齢者の活動範囲はあまり広くないので、第2層で踏ん張っても仕方ない。第3層のところの情報を皆さんに周知することが大切。盆踊りやスポーツ吹き矢等が地域で行われているが、イベントに参加しないような人へどのように周知するかが鍵である。商店がなくなってきているので、買い物難民の問題についても支え合い会議で考えていきたい。



支え合い会議仲町 平成30年12月立上げ

- ・はじめは、支え合い会議とは何なのかと考えていた。今日の話聞いて、それぞれに特徴のある活動をしていて素晴らしいと感じた。行政は縦割りで隙間がある。それをどうやって埋めるか、各分野の人が集まって考えるのが支え合い会議だと思う。
- ・大変勉強になったので、町会長会議で報告する。若い人を中心に新しいことをしてほしい。



支え合い会議熊野 平成31年1月立上げ

- ・全くわからずに支え合い会議をはじめた。無理に構成員を決めずに全員構成員にしてはどうか。ほぼ町会でやっていることなので、まとめればよいかと思う。帰って皆に説明したい。
- ・マップでどこに病院や店があるのかわかると良い。



第3章 「アドバイザー、見学者よりコメント」報告

アドバイザー：

東京都健康長寿医療センター 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長 藤原 佳典 氏

- ・支え合い会議は高齢者が発信ですが、若い世代の巻き込み方が大切になります。既にある子どもとの交流（絵本の読み聞かせ等）を通して、親世代と繋がることもあります。地域の持続性を考えると、多世代の交流が今後のポイントとなります。
- ・18 地域が一堂に会して、同じ方向を向いて進んでいることにびっくりします。大抵はモデル地区が突出していて、地域格差が広がってしまい、事業が広がらない自治体が多いものです。社会格差が少ないほうが健康寿命が延びやすいといえます。18 地域のスタートこそ違えど、一緒に歩いていくことが大切です。



見学：

公益財団法人さわやか福祉財団 ふれあい推進事業 新地域支援事業 担当リーダー 長瀬 純治 氏

- ・驚きを通り越して感動しています！ 今後どうなるのか本当に楽しみです。

高崎市の皆様

- ・情報発信が非常に大切で、構成員だけではなく、裾野を広げていくことが大切だと改めて感じました。今後も参考にさせてもらいたいです。



第4章 「第2部 グループトーク」報告

各グループから発表していただいた内容をまとめました

- ・**地域に出て来ない、来られない人（特に男性）に支え合い会議として何ができるかが課題**
 - マップの活用、アンケート調査の実施、役割を持ってもらう（支える側と支えられる側のギブ&テイクが大事）、行事保険の活用（安心して参加してもらえるようにする）、サロンや在宅サービスの活用、積極的な声掛け
- ・**地域の中にどんな困り事があるかが課題**
 - ・アンケートの効果や配布方法、回収方法を知りたい
 - 対面式のアンケートをした地域もあり、現時点で約 560 名から回収できた
 - マップ作成の取材時に困りごとについて合わせて聞いている地域があった
- ・**支え合い会議の存在意義について話し合った**
 - 既に地域にある組織・活動は高齢化しており厳しいところがある。
 - 横のつながりや新しい人の参加で何かができるかもしれない
- ・**支え合い会議の周知、説明が課題**
 - 活動を周知するためのチラシや名刺を作成している地域がある
 - ・地域資源を掲載したシニアガイド
 - 民生委員さんにチラシ等の戸別配布をお願いするのも案
 - DVD を作成して活用するのも案
 - 町会長会議、掲示板の活用をしているところもある
- ・**会の運営上の苦労や工夫を話し合った**
 - ・会議がなかなかまとまらない
 - 会を進めていく中でまとめ役を見つけていく
 - ・マップ作りが参考になった
 - ・見守りキーホルダーの普及をテーマにしている地域もある
 - ・担い手作りも大切
 - ・世代間交流の取り組みが大切（高齢者と子どもの交流が大切）
 - ・買い物難民へ何かできるとよい
 - ・支え合いの仕組みづくりが難しい
 - ・継続のために若い人にも参加してほしい
 - ・基本的には支え合い会議を毎月開催する
 - ・活動した後地域はどう変わったか知りたかった
- ・**地域ならではの特徴や課題（団地と戸建の混在等）がある**
 - 話し合いながらその地域に合う形で少しずつやっていく
 - 他地区の情報を得ながら、各地域で活かしていく
 - 例) 地域の盆踊りと協議体がコラボしたことがよかった
 - アンケートや活動の周知に力を入れていて参考になった
 - 会則を決めている地域もある
- ・**SC の選出方法について**
 - 推薦、立候補等があるが、地域に合わせた決め方があるので難しい。
 - SC は事務手続きが多く、予算の管理が大切

第5章 「アンケート集計結果」

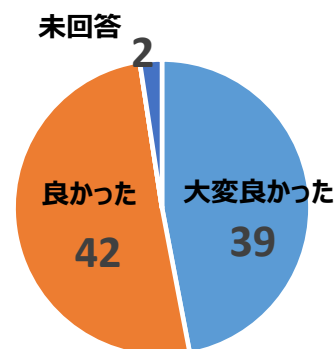
・支え合い会議連絡会にご参加いただいた皆様にアンケート調査を行いました。

日時：平成30年11月28日（水）18時～20時30分 会場：グリーンホール2階ホール

参加者：120名 アンケート回収：83名 回収率：69.1%

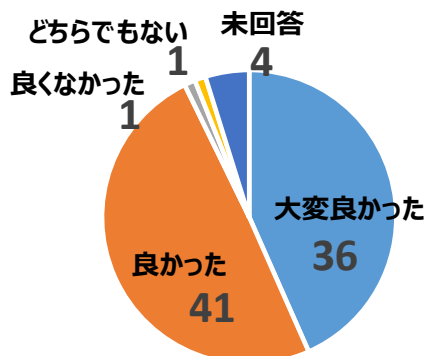
①本日の連絡会はいかがでしたか

選択肢	計	
	選択数	構成比
大変良かった	42	51%
良かった	39	47%
良くなかった	0	0%
どちらでもない	0	0%
未回答	2	2%
計	83	100%



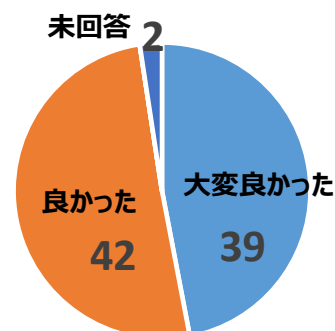
②本日の資料や内容（報告、グループトーク等）はいかがでしたか

選択肢	計	
	選択数	構成比
大変良かった	36	43%
良かった	41	49%
良くなかった	1	1%
どちらでもない	1	1%
未回答	4	5%
計	83	100%



③支え合い会議（第2層協議体）の活動に参考になりましたか

選択肢	計	
	選択数	構成比
大変参考になった	39	47%
参考になった	42	51%
参考にならなかった	0	0%
どちらでもない	0	0%
未回答	2	2%
計	83	100%



・ 支え合い会議連絡会にご参加いただいた皆様からご意見・ご感想をいただきました。

※表記の都合上、記載いただいた順番や語尾等の表現を一部修正しています。

※一部抜粋

何か板橋区全体が繋がっている感覚になった
他地区の状況が良く分かり参考になり安心した部分もあった
このような連絡会はとても有意義なものだと思うので、度々開いてほしい
地域に出てこれない方たちをどう引き出すか、私たちはそのきっかけ作りやちょっとした工夫を形にする役割だと思う
参加者の情熱に感動した
楽しく関わる事が大事だと教わった
良い情報交換ができ、困っていることの共有が出来た
あせらず、あきらめず、地域に合った活動の仕方を考えていく
活動報告も必要だが、他の地域での活動をより深く知り、自らの地域に活かせるようグループトークの時間を長くした方が良くと思う
他地区の活動の情報を共有できることが貴重だった
他地区の活動を伺い、回を重ねるごとに活動が発展していると感じた
このような活動が板橋全体に広がっていると思うと、社会を変える大きな動きになるのではと思った
自分の地区のペースでやりやすいように、参加しやすく長続きできるように取組んでいきたい
どこの協議体でも同じような悩みがあったり、似たような活動をしていたりと、他の地域も頑張っていることが分かり、エネルギーを貰った
他地区の報告はとても参考になったが、あくまで自分たちの地域にあった活動をしたい
今後先行して活動を行っている地域の立上げ、活動、問題、解決策等の具体的な発表を聞きたい
連絡会の内容を、情報を知らない板橋区民に知らせる必要があると思う
グループ数（ブロックを分けて）を減らして、発表より討議（交流）する時間を増やした方が良い
実際に地域にどのような効果があったのかが知りたかった

【編集発行・問合せ先】

社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会 経営企画推進課 地域包括ケアシステム推進係

〒173-0004 板橋区板橋二丁目6-5番6号情報処理センター内

電話／03-3964-0236 FAX／03-3964-0245 Eメール／sc@itabashishakyo.jp

※紙面に関する詳しい内容については問合せ先までお問合せください。

【共同編集・事業実施主体（事業担当部署）】

板橋区 健康生きがい部 おとしより保健福祉センター 地域ケア推進係

〒174-0063 板橋区前野町四丁目1-6番1号

電話／03-5970-1114

※本事業は、板橋区から板橋区社会福祉協議会への委託事業です。